

## 第 65 回自衛隊記念日レセプションにおける大使スピーチ

(2019 年 7 月 5 日)

●ベトナム国防省人民軍副総参謀長ファム・ゴック・ミン上將をはじめ、ご列席の皆様。本日は自衛隊記念日レセプションにご参加いただき、ありがとうございます。また、本日のレセプションは、明後日、帰国する志道防衛駐在官と後任の原防衛駐在官との交代式でもあります。

● 防衛協力については、後程、志道防衛駐在官から話がありますので、私は、日越関係全般について少し話をさせていただきます。

●現在、日越関係は、「広範な戦略的パートナーシップ」の下、政治、安全保障、経済及び文化等、あらゆる分野で飛躍的に深化・拡大しつつあります。また、日本は、ベトナムの持続的発展が、地域の安定と繁栄にとって非常に重要と認識し、連携強化に勤めています。

●私自身、世界有数の親日国であり、かつ、発展のエネルギーに満ち満ちたこの時代のベトナムに勤務できることを非常に幸運と考えています。その理由は3点あります。

●第一の理由は、日本とベトナムは「多くの戦略的利益」を共有している事です。海洋における航行の自由、国際法重視、CPTPP、自由で開かれたインド・太平洋などがあげられます。

●第二の理由は、日越指導者間の弛まぬ交流が続き、指導者間に強い信頼感が築かれている事です。

昨年、両国は外交関係樹立45周年を迎え、一年を通じ250近くの記念行事が日越両国で開催されました。また、日本からベトナムへは、大臣、副大臣等計20名、衆議院予算委員会をはじめとする6つの議員調査団計25名、知事10名等多数の要人がこられました。ベトナムからも、チャン・ダイ・クアン国家主席、フック首相に加え、閣僚17名の要人訪日がありました。

今年も要人の相互訪問は続いています。先週、フック首相がG20大阪首脳会議に参加され、7月1日、東京で安倍総理との日越首脳会議、また千名以上

の日越両国ビジネス・リーダー参加者の下、「ベトナム投資会議」が開催されました。

●第三の理由は、国民レベルでの交流も増大している事です。この7年間にベトナムに住む日本人は約3倍増の2万2千人となり、日本に住むベトナム人は、7倍増の33万人となりました。

現在、日本は、少子高齢化と深刻な労働力不足に苦しんでいますが、今や多くのベトナムの若者が日本において、自分の夢を実現すべく、日本で学び、そして、仕事をしています。

●私の話はここで終わりにします。なお、本日は防衛企業の方々（富士通、三菱電機、IHI）にご協力いただき、ブース展示をしておりますので、ぜひご覧下さい。

●最後に、皆様の御健勝、アジア太平洋地域の平和と繁栄を祈念して、皆様と乾杯したいと思います。御唱和ください、乾杯！（了）